

国立教育政策研究所教育課程研究センター研究指定校事業に係る
「生活科・総合的な学習の時間授業公開」
期日：平成28年12月9日（金）
会場：佐伯市立鶴岡小学校

【授業公開】

1 第2学年生活科「おもちゃ研究所」の授業の流れ

- ①本日のめあてを確認する。 ②おもちゃを紹介し、「工夫」を板書に位置づける。



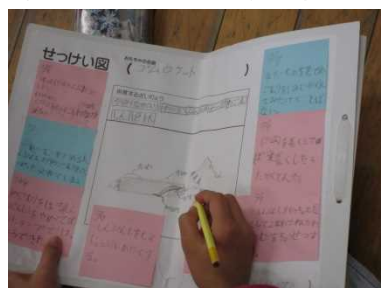
- ③うまく動かないあるおもちゃの改善点を全員で考える。



- ④全員で考えた改善点を板書に位置づける



- ⑤ 自分のおもちゃに取り入れられる工夫を記述する



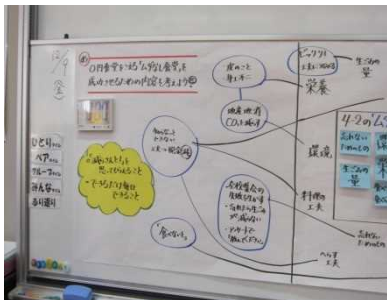
(授業概要)

- よく動くおもちゃにするために「おもちゃ研究所」の研究员になって活動することを前時までに確認している。おもちゃでの遊びをとおして、動きにくかったり、遠くに飛ばなかったり等の「困り」が生じている。その困りを元に、本時は自分たちのおもちゃを改善することを目的としている。事前に付箋を活用して発見したことや工夫点、お勧めポイント、困ったこと等を自分のおもちゃの設計図に貼付している。よく動くようになったおもちゃを全体交流しながら、工夫する点やお勧めポイントを紹介し合い、自分のおもちゃの改善に活用することをねらいとしている。
- まず、よく動くようになっているおもちゃの工夫を全員で確認した。その後、よく動かないおもちゃの「困り」を全員で共有し、解決に向けた意見を出し合う活動を行った。よく動かない問題点を出し合う際は、小さな部分まで全員に見えるようにICTを活用しながら確認を行った。実際に工夫を試す場面では、教室前方で実施したこともあり、後方に座っている子どもにはやや見えにくくなっていた。全体の話し合いにおいては、よりよく工夫する視点（材料、つくり方等）について共通理解をさせた後、自分のおもちゃの工夫に生かした振り返りを行う必要があったようである。

【授業公開】

2 第4学年 総合的な学習の時間「生ごみをへらそう大作戦」

- ① 本日のめあてを確認する。 ② 「ムダなし食堂」に必要なものをグループで話し合う。



- ③ 全体発表後、視点に沿って再討論 ④ 1単位時間の授業での振り返りを行っている。



(授業概要)

- 社会科の「ごみはどこへ」の学習を通して自分たちの給食の実態を見つめる中で、「生ゴミを減らす」という課題設定を行い取組を進めている。前時まで「ムダなし食堂」に必要なことを見つけるために、テレビ放映されている「0円食堂」の取組と比較し、「ムダなし食堂」に必要なことは何なのかを決めていくことから本時は始まっている。
- 児童がこれまで意識していなかった「交渉」「旬の食材」「食材探し」等を明らかにして、生ゴミを「減らさないといけないと思ってもらえること」「できるだけ毎日できること」の視点で話し合いが進められた。児童は「交渉」ということに着目し、「交渉すること」について全体での話し合いが進んだ。そして、「交渉」は、児童がボックスチャートの外に位置付けたその他の内容に含まれていることに気づくことになり、必要なしという結論を導き出した。その後、「旬の食材」についてや「食材探し」について話し合いの視点に沿って行った。2つの視点で話し合いを進めていたので、視点と内容が一致しない場面も見られた。話し合う過程の中で視点を精査していくことも必要であったようである。
- 振り返りでは、本時の話し合いを踏まえて、「0円食堂を超える『ムダなし食堂』の必要なこと」について行っていた。振り返りは、話し合いの視点に沿って、『ムダなし食堂』に必要なことを明確にする必要もあったようである。